

第1回企画展

資料に見る

久喜市の災害・救恤

展示期間：平成6年10月2日(日)～10月31日(月)

期間中毎週月曜日から金曜日、日曜日

(土曜日、祝祭日はお休み) 午前9時から午後4時

展示場所：久喜市公文書館 1階展示室

弘化三丙午年六月廿五日
甲子年六月廿五日庚辰年
上列新洲堤の崩壊
川、洪水等も道断り等



開催にあたって

歴史的に貴重な公文書等の保存と利用を目的として、平成5年10月1日に開館した当公文書館も開館1周年を迎えました。今年度から年2回の企画展と常設の展示を計画しておりますが、この度の企画展はその第1回目として、久喜市域に関係した自然災害にスポットをあててみました。

自然災害は、風水害、霖雨、早魃、飢饉、疾病、噴火、地震、火災等に分けられますが、この展示では、浅間山焼、早魃・飢饉と打ちこわし、洪水、地震、大火に関するコーナーで構成しております。

自然災害といえば、昨夏は長雨と冷夏で米の作柄が悪く、米価が異常な高値となり、今夏は全国的に猛暑が続き雨も少なく、四国地方では長期の給水制限があったり、沖縄のある島では台風により建物の大半が全壊と、これほど高度に発達した文明社会であっても、人間の力ではどうにもならないものがあります。しかし、いつの時代でも人間はこれを克服し、この自然の脅威とその際の対処を記録に残し、後世に伝えようとしております。この展示では、江戸時代から昭和22年までの久喜市域に関わる先人達の残した記録を紹介しておりますが、現在に生きる我々もまた後世に貴重な記録を残して行かなければならないとの認識を深めていただける機会となれば幸甚でございます。

最後に、この展示を開催するにあたり、これら貴重な資料を提供していただきました市内外の多くの個人・機関に厚く御礼申し上げます。

平成6年10月

久喜市公文書館長

久喜市域の災害年表

年号	西暦	事 項
寛保2	1742	8. 関東大洪水、利根川・荒川・入間川など氾濫、青毛堀の御手伝普請は岩国藩吉川家が担当(相沢家文書、松村家文書)
宝暦7	1757	4. ~5. 関東大洪水、利根川・権現堂川決壊
明和9	1772	8. 関東大風雨、権現堂川堤決壊、除堀村では潰家が多数(茂木家文書)
天明3	1783	6. 荒川・利根川破堤大洪水、江戸川・古川も出水、除堀村で出水 7. 4月から浅間山噴火、7月5日から8日には大噴火、加須では6日の早朝から砂(火山灰)降り、8日の昼までに坪あたり6斗5升余もの堆積が見られた(松村家文書)、また久喜市域でも御障山道踏発掘調査の際に浅間の火山灰が検出されている
6	1786	7. 12日より17日大風雨、木立村堤切所、幸手・庄内・松伏・新方領押し流される、除堀村で大出水(茂木家文書)
7	1787	8. 9日夜久喜本町及び9月19日には下早見村の数軒が打ちこわしにあう(鬼久保家文書)
享和2	1802	7. 1日に荒川・権現堂堤が決壊(中村家文書)
文政4	1821	6. 春から大早魃、古久喜村、野久喜村外5か村早魃のため馬飼料拝借を願出る(木村家文書)
天保4	1833	9. 幸手宿・上高野村の米穀屋に打ちこわしがおこる(藤城家文書、吉羽家文書)
5	1834	この年天候不順、凶作米価上昇に苦しむ(岡安家文書)
7	1836	4月頃から8月中旬まで雨が長く、8月に霜降り大飢饉が続く(柴崎家文書) 8. 久喜本町久兵衛方が打ちこわし(相沢家文書) 12. 琴寄村で打ちこわしがおこる(相沢家文書)
弘化3	1846	4. 市内所久喜・上清久で竜巻の被害、白岡・菖蒲・栗橋・鶯宮等でも被害がでた(武井家文書) 7. 6月からの長雨で7月1日利根川出水、権現堂堤も決壊し、県域はもとより江戸までも出水した(武井家文書)
安政2	1855	10. 2日の夜4つ時(10時頃)いわゆる安政の大地震が発生(船川家文書、藤崎家文書)
3	1856	5. 24日から22日間日照り(武井家文書) 8. 25日大風雨、野久喜村・除堀村・清久村・青柳村では潰家多数(木村家文書、茂木家文書、柴崎家文書、武井家文書)
6	1859	前年から流行していたコレラにより、青柳村でも死人が出た(武井家文書) 7. 24日から大風雨、利根川・荒川等が決壊し大水害、市域でも床上浸水多数、田畑は水腐れ(武井家文書、柴崎家文書、茂木家文書)
慶応2	1866	8. 7日と8日大風雨、田畑冠水水腐れ(木村家文書、茂木家文書)
4	1868	3. 羽生陣屋他打ちこわし、下清久・江面・青柳・下早見等で被害(鬼久保家文書)
明治11	1878	3. 9日から10日にかけての夜半久喜本町にて火災発生、久喜本町・久喜新町・野久喜にて計95戸焼失(榎本家文書)
23	1890	8. 22日から風雨強まり、23日利根川・荒川決壊、市域では25日と30日出水、浸水家屋多数、汽車も運行休業(榎本家文書、県行政文書明707)
43	1910	8. 2個の台風と低気圧の停滞で大風雨、10日利根川など決壊、県下の24%が浸水、特に北埼玉・南埼玉・北足立・北葛は大部分冠水(『埼玉県水害誌』)市域でも大被害(榎本家文書)
大正12	1923	9. 1日午前11時58分マグニチュード7.9の地震が関東地方を襲う(関東大震災)、市域では建物の全半壊41戸、死者・行方不明者3人(県行政文書大1420)
昭和22	1947	9. カスリーン台風による水害、大正・昭和を通じて最大の水害明治43年の洪水以来の大災害、市域でも大被害(『昭和22年埼玉県水害誌』)

表紙写真/幸手市近郷河川氾濫絵図(弘化三年)
(埼玉県立文書館保管 中島家文書258)

浅間山焼（浅間山噴火）

天明3年（1783）7月5日から8日にかけて浅間山は大噴火を起こした。埼玉県でも火山灰が大
雨のように降り続き、昼でも行燈をともしほどであったといい、農作物や人々の生活に被害を及ぼ
した。古文書には降灰のことを「砂降」と記録しており、6日から8日までに1坪当たり6斗5升4合
もの火山灰の堆積を見たとの記録がある。また噴出物は泥流となって吾妻川から利根川に流れ込み、
流域の村々の家屋や人馬を一気に下流まで押し流した。利根川の川床は、この時堆積した火山灰等
で通常より3メートル近くも高くなり、流域の村々で洪水を招くようになった。また、上空に吹き
上げられた噴煙は、その後の天候不順の原因の一つともなり、天明飢饉に拍車をかけることとな
った。



信州浅間山焼亡鹿絵図（野中家）
泥流が吾妻川から利根川に流れ下った様子が描かれている。

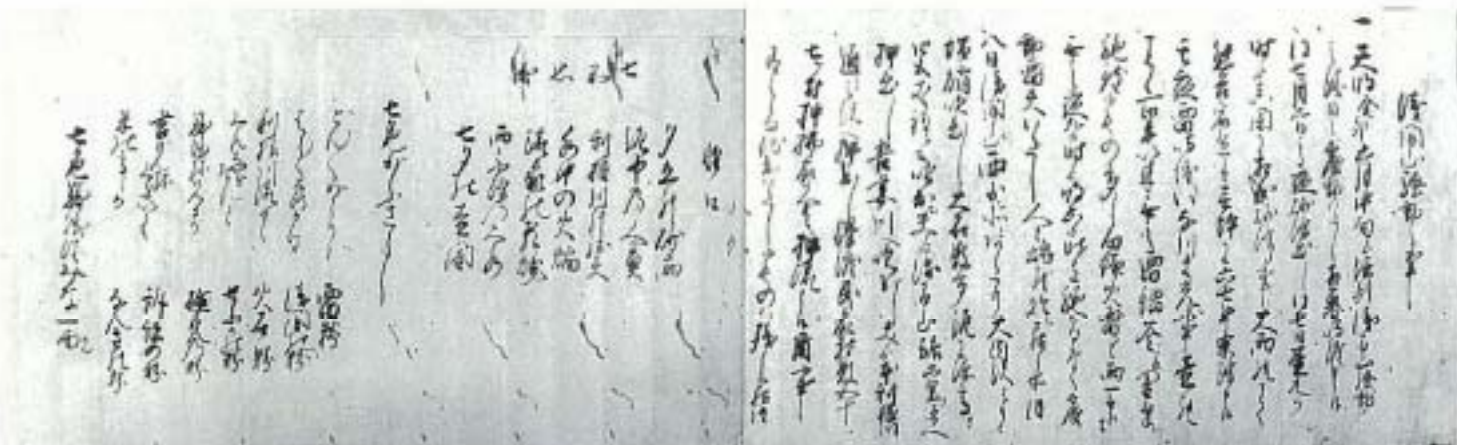


今度大変二付願書（野中家481）
7月5日夕から8日昼八ツ時迄の噴火の様子を克明に記している。



砂降願書(大熊(正)家3733) 砂降に付早稲刈取願(鬼久保家191)
火山灰により田畑の被害は甚大で、このような検見願や刈取願を差し出している。

松村家日誌(松村家N108)
7月6日朝七ツから8日昼までに坪当
り6斗5升4合もの火山灰の堆積があっ
たと記されている。



浅間山騒動之事
(久保家2175)
文末の軽口「夕立の砂雨……」以下の
七不思議は、泥流に押し流された人
馬・家屋等の悲惨な状況を物語っ
ている。

旱魃・飢饉と打ちこわし

江戸時代の三大飢饉といわれる享保・天明・天保の飢饉のうち、埼玉県や久喜市域に甚大な被害を及ぼしたのは、天明・天保の飢饉である。

天明の飢饉は、天明3年(1783)浅間山噴火とそれに続く天候不順、そして浅間山噴火の噴出物に起因する利根川の川床上昇による天明6年(1786)の大洪水によって、県内各地で困窮人が急増した。市域の除堀村でも、当時の村の半数以上が飢えに苦しんでいたとの記録がある。また、天明7年(1787)には、窮乏が限界に達し、久喜本町や下早見村で打ちこわしが起こった。

天保の飢饉は、特に天保4年(1833)と天保7年(1836)の二度の大飢饉が原因で、米価が天保年間に3倍にもなるなどの物価高騰が引き起こされた。その結果、施米・施金や米穀の値下げ要求といった性格の打ちこわしが、天保4年の幸手宿をはじめ県内各地で続いた。また、慶応4年(1868)には、幕府の崩壊と物価高騰により困窮者が増大し、羽生陣屋の官軍による焼き払いに端を発し、羽生の豪農が打ちこわされ、加須・久喜等近隣の町村へと打ちこわしが拡大した。

旱魃は、文政4年(1821)の大旱魃が知られており、嘉永6年(1853)、安政3年(1856)の記録も残されている。



凶作に付夫食拝借願 (茂木家1816)

天明の飢饉の市域の様子を知ることができる。また浅間山の砂降の記述もある。除堀村の半数以上が困窮により夫食(食料)を必要としていた。

先納金並御勝手向賄金に付門訴一件宥免願 (鬼久保家191)

天明7年の8月から9月にかけて、久喜領村々の農民たちは折りからの凶作に続いて先納金と勝手向を課せられた。そのため久喜町、下早見村で反対行動の打ちこわしを行った。これは久喜藩郡方役所に騒動後の寛大な処置を願い出したものである。



去年旱魃に付馬飼料拝借願 (木村家42)

文政4年春から夏にかけて、関東・東北地方は大旱魃の被害を受けた。この資料は、早損のため馬飼料さえ確保できないので、その拝借を願い出したものである。



幸手宿打壊騒動御裁許御請書写 (藤城家12)

天保4年9月19日夜、町内各所に22日より殺商を打ちこわすとの貼札が出され、殺商人は安売りや施米を協議したがまとまらず、28日宿内の豪商や上高野村で打ちこわしが起こった。



乍恐以書付奉愁訴候 (久喜町打ちこわし二付) (相沢家1326)

天保7年8月、困窮に苦しむ農民たちが、久喜本町久兵衛方を打ちこわしたため七左衛門ほかが入半となったので、久喜町取締組合村々がその有免を願い出したものである。



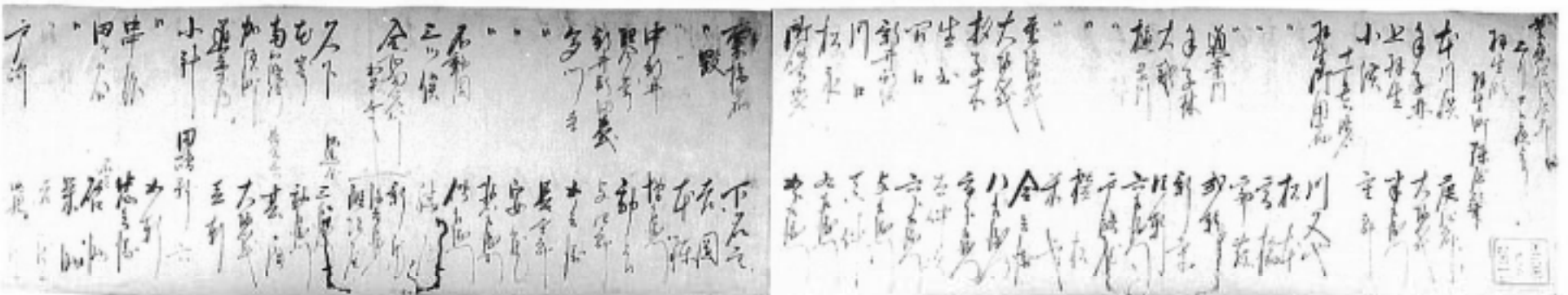
天保の飢饉に付書上 (柴崎家1)

天保年間旱魃・洪水・天候不順などにより、全国的な飢饉が続いた。この資料は天保7年～8年の暖冬・長雨・夏霜などによる作物の不作、餓死のことなど記されている。



騎西領用水湯水に付議定 (大熊(みつ)家3687)

嘉永6年は、5月下旬から7月中旬までに2日間しか雨が降らないという早魃であった。騎西領用水を引水している村々は用水不足に悩み、議定書を交わしている。



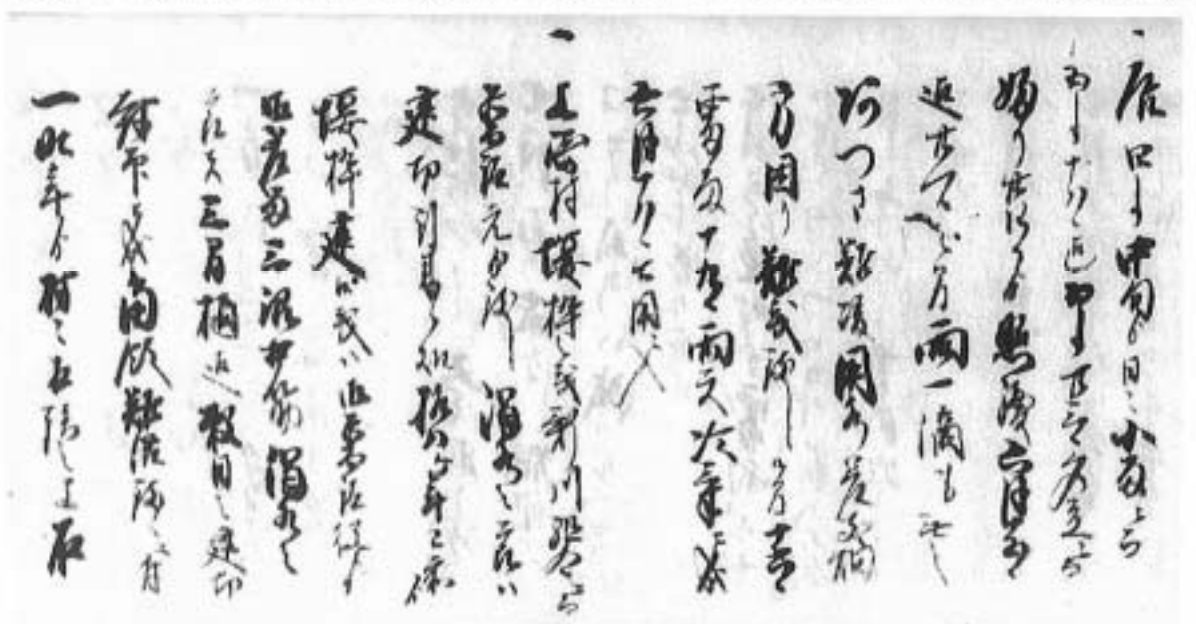
羽生陣屋他打ちこわし (鬼久保家2615)

慶応4年羽生陣屋が官軍によって焼き払われると、近村から陣屋の使役として集められていた人足たちは突如打ちこわしを始めた。この資料は打ちこわしにあった家が記されている。



薩薯解 (篠崎家2194)

飢饉に際して、主食に代わるサツマイモ等の救荒植物が食された。



武井家記録 (武井家1)

本記録は、天保14年(1843)正月から明治7年(1874)4月までの30年間の記録で、筆者は当家9代の時右衛門である。安政3年は5月24日から6月15日まで22日間照続き用水不足となったとの記録である。

洪水(近世)

埼玉県並びに久喜市域に被害をもたらした洪水としては、寛保2年(1742)、明和3年(1766)、同9年(1772)、天明6年(1786)、享和2年(1802)、弘化3年(1846)、安政3年(1856)、同6年(1859)、慶応2年(1866)などが挙げられる。特に寛保2年、弘化3年、安政6年の洪水は、その規模・被害とも大きなものであったことが知らされている。市域の水害等に関する資料が残されている洪水としては、青毛堀の復旧に岩国藩吉川家が御手伝普請を命ぜられている寛保の洪水、強風により家等が吹潰された明和9年と安政3年の洪水、市域各所で浸水家屋の出た安政6年の洪水などが挙げられる。



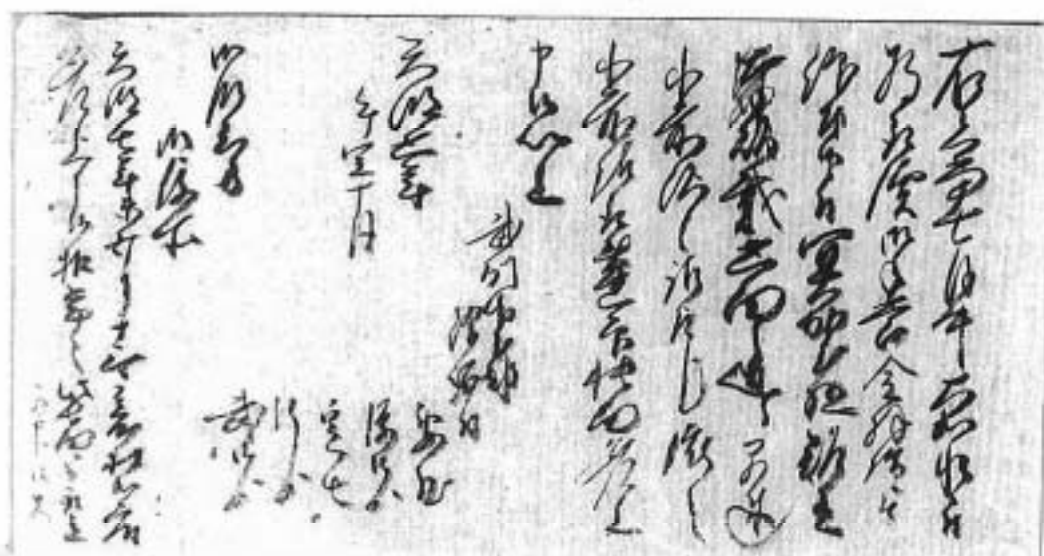
寛保二壬戌年八月出水ニ付御救井聞書帳
(相沢家288)
越ヶ谷・粕壁・杉戸・幸手・栗橋の溺死者数が記載されている。



水丈覚(松村家H136)
寛保2年8月1日の大洪水時の床上浸水
や田畑の冠水の様子を記録している。



大風雨潰家書上帳(茂木家724)
明和9年8月の大風雨の際の除堀村の被害状況が記載されて
いる。75軒もの潰家があった。



大出水に付手当金拝借請書(茂木家1800)
天明6年7月の大洪水の際、御手当金の下附を受けた除堀村の請書



武井家記録(武井家1)
弘化3年には竜巻と洪水に見舞われた。
ここでは、洪水の部分だけを挙げる。



弘化三年洪水幸手近郷絵図(吉羽家1641)
木版多色刷の災害かわら版の一種。利根川・江戸川の堤や権現堂堤の切
所(決壊した場所)が記されている。



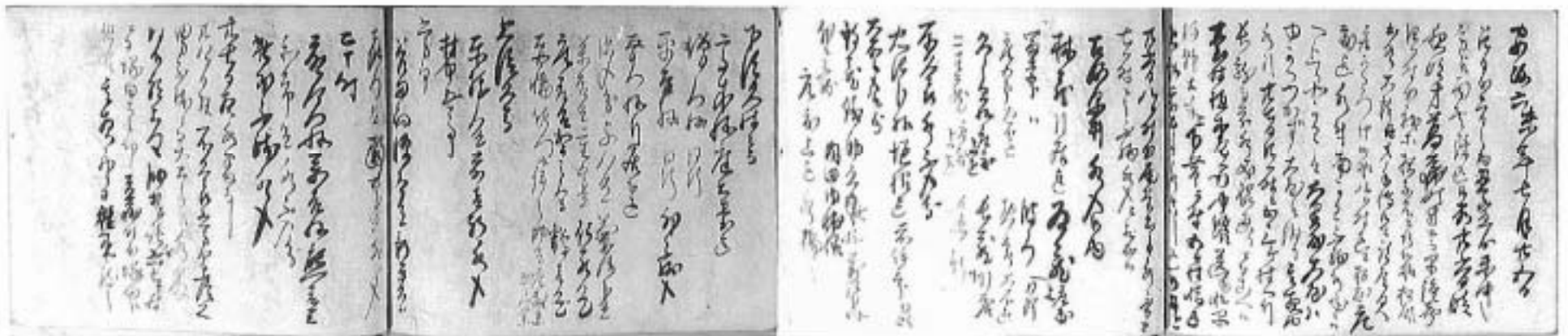
大風雨に付潰家書上帳 (木村家44)

安政3年8月25日の大風雨による野久喜村の被害状況を書き上げたもの。総家数82軒のうち15軒が潰家となり、総人数391人うち30人の怪我人が出たが死者はなかった。



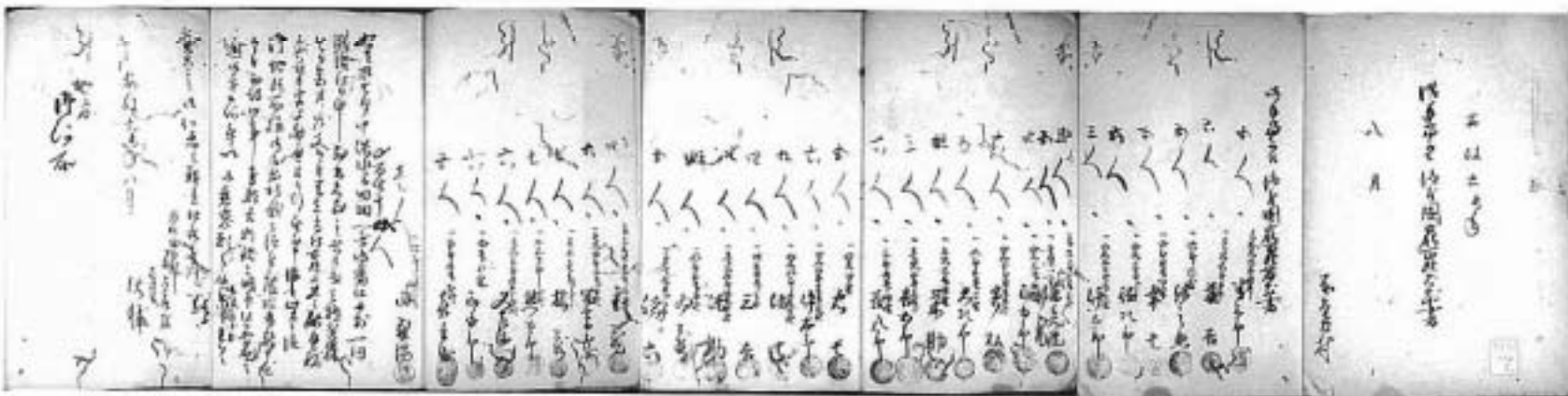
大風雨潰家取調書上帳 (茂木家234)

安政3年の大風雨による除堀村の被害状況の書き上げである。33軒の家屋が潰されている。



大風雨出水に付被害書上 (柴崎家1)

安政6年7月の大水害のようすが記されている。清久地区を中心に高瀬・三箇まで浸水や堤防等の様子が詳しく記されている。



大出水に付困窮百姓書上 (内田家72)

領主は災害等で百姓が破産すると、年貢確保のため、種糧・夫食・貸付等の救恤策を実施した。安政6年の所久喜の困窮した者たちへの夫食等の貸付の様子が記されている。



武井家記録 (武井家1)

安政6年の洪水の際の被害状況やむすび・汁・水等の炊出しを実施したことなどが記されている。

安政大地震

安政2年(1855)10月2日の夜4つ時(10時頃)、いわゆる「安政の大地震」が発生し、震源地である江戸を中心に関東各地に甚大な被害を与えた。安政大地震は直下型地震で、その被害は江戸で倒壊家屋1万4千数百戸、推定死者7千~1万人に及び、地震後に起きた火災により約14町(1.5km)四方が焼失した。

県内では、震源地に近い県南部から東部にかけて被害が大きかったようで、ことに蕨宿や幸手領52か村では、死者が出ており、地割れや家屋の倒壊が著しかった。

久喜市域では、怪我人程度で死者はなく、黒沼笠原沼用水路の関枠が地震により大破したという記録がある。また、支配している大名や旗本の江戸屋敷の被害は甚大で、屋敷の修復費用が支配の村々に課せられたりした。



大地震二付御地頭所様江書上帳 (船川家436)
幸手領平須賀村の被害状況。利根川堤の震前もあつたほか、このように建物の損壊が著しかった。



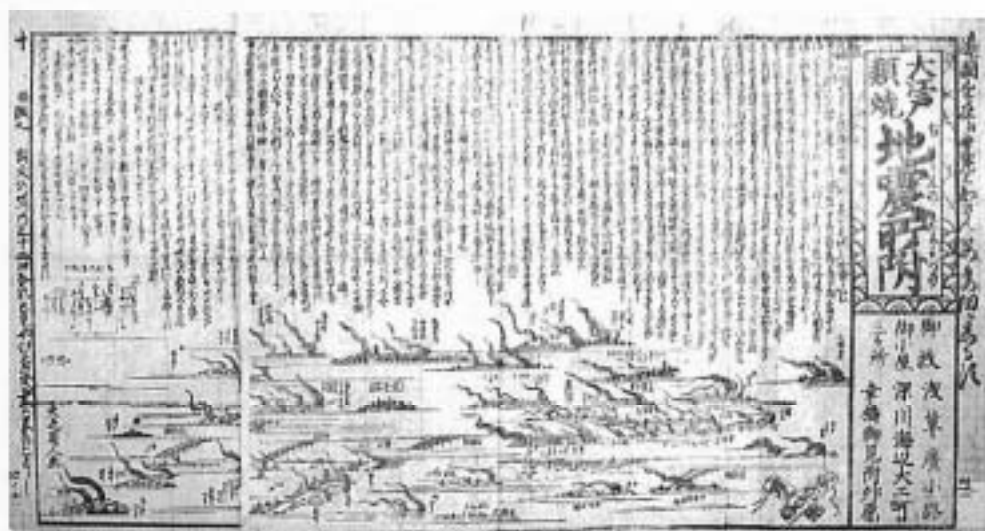
地震けん (小室家錦3-5)
いわゆる「地震・雷・火事・親父」の4人が賑八景
をしている様子を描いたもの。



大地震に付用水路大破検分願
(茂木家1020)
黒沼笠原沼代用水路の除堰地内関枠が地震により



地震に付御役所様献金御上納出金帳 (茂木家513)
除堰村領主一橋家の江戸屋敷も地震の被害を受け、修復のための上納金
20両を差し出した。



大江戸類焼地震所附
(小室家4807)
安政大地震後には、40近くも崩れたという地震かわら版の
一つ。幕府の救済施設の「御救小屋」が3か所に設置され
ている。

近・現代の災害

明治・大正・昭和になっても、大火・風水害・地震等の自然災害は引続き起こっている。明治11年（1878）3月には、出火場所の久喜本町を中心に95戸も焼失した大火があり、現在まで市域での最大の火災であった。また、明治23年（1890）と同43年（1910）には大規模な水害があり、特に43年は被害が大きく、埼玉県下の24%が浸水し、久喜市域でも当時の全戸数の94%にあたる2133戸が水に浸かった。

大正12年（1923）9月1日午前11時58分マグニチュード7.9の地震が関東地方を襲った。関東大震災である。市域の被害は建物の全半壊41戸と比較的少なかった。

昭和22年（1947）9月に襲来したカスリーン台風は、大正・昭和を通じて埼玉県・久喜市域に最大の大災害をもたらした。



火災に付地租金延納願（榎本家1255）

明治6年7月に公布された地租改正法により、地価を課税の基準とし、物納・石代物から金納となり、土地所有者を納税義務者とした。これはその地租の納入延期を願い出したものである。



火災救助金請取（榎本家1256）

提出による救恤金302円85銭と白米15俵を受け取り、罹災各戸へ配布した。



明治23年出水村々見舞覚帳（榎本家1676）

明治23年8月25日荒川・早川で破堤し、除堰・樋ノ口・流新田・青柳・江面・塚等の諸村は浸水、30日には先に決壊した利根川が再び破堤し田畑の収穫は皆無となる。

村名	戸数	被災状況
江面村	100	全壊
...
計

清久村・江面村水災被害表（埼玉県行政文書明707）

明治23年の洪水の被害状況を県に報告したもの。特に被害の大きかった江面村の部分。

村名	戸数	被災状況
江面村	686	全壊
...
計

明治43年水災見舞出帳（榎本家1682）

明治43年8月11日利根川・荒川が決壊、市域はもちろんで北埼玉・南埼玉・北葛飾・北足立の大部分を浸水し、県下の24%が浸水という甚大な被害であった。市域でも浸水家屋2133戸、所要救助人数4048人で、11日夜から15日夜まで1人1日6個の握飯を給した。



明治43年洪水（榎本家）



明治43年洪水（榎本家）



明治43年洪水（榎本家）

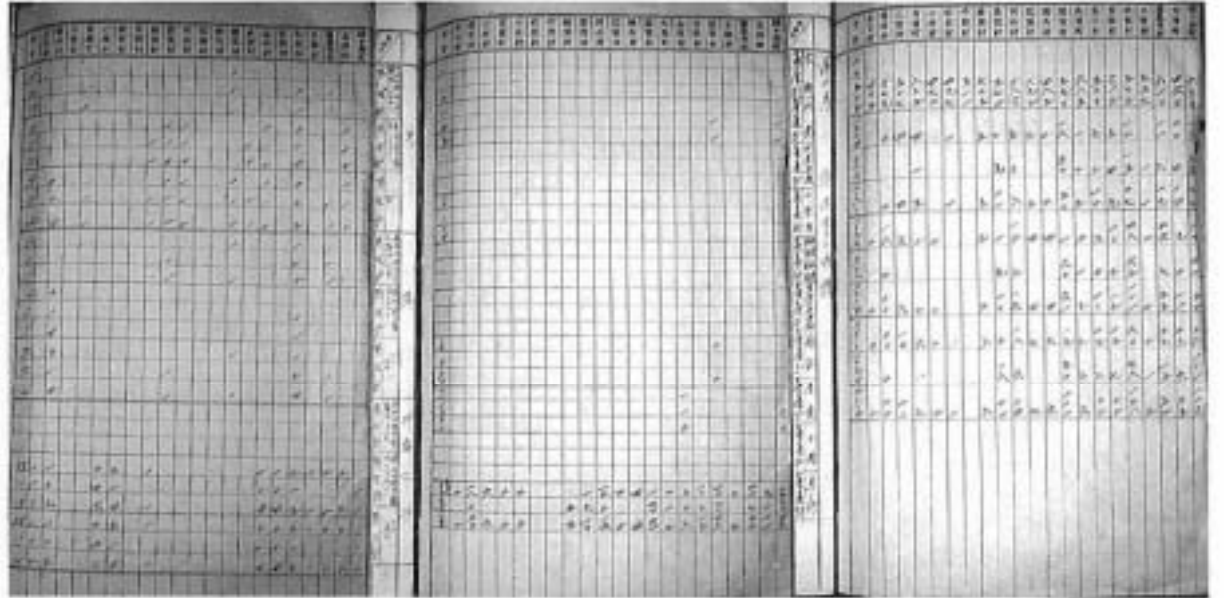


関東大震災復旧作業（大木家）



幸手町の家屋倒壊（埼玉県農業試験場）

大正12年9月1日午前11時58分世にいう関東大震災が関東地方を襲った。市域では全半壊41戸と比較的被害は少なかったが、死者・行方不明者を出している。



関東大震災被害状況（埼玉県行政文書 大1420）



カスリーン台風による久喜駅付近の惨状（『埼玉県水害誌』より）

昭和22年9月16日午前0時30分現大和郡町で利根川が破堤し、濁水は北埼玉をのみこみつ久喜市域に襲いかかった。濁水は白岡付近で荒川の濁水と合流し、船塀町・吉川町に達し、東京都東部を水没させ21日に東京湾に流れ込んだ。市域の被害は、浸水家屋2815戸、全半壊80戸、死者1名、負傷者22名であった。



洪水4日目の久喜町のようす（武井家）

展示資料目録

No.	災害名	年月日	展示資料名	所 蔵	
1	浅間山焼	天明3年(1783)	砂降被害に付検見願	埼玉県立文書館保管 鬼久保家文書191	
2			砂降に付早稲刈取願	" 鬼久保家文書191	
3			凶作に付夫食拝借願	除 堀 茂木家文書1816	
4			〔松村家日記〕	加須市 松村家文書N108	
5			信州浅間山焼亡之亀絵図	埼玉県立文書館保管 野中家文書	
6			今度大変ニ付願書写	" 野中家文書481	
7			浅間山騒動之事	" 久保家文書2175	
8			天明四甲辰三月砂降願書写	" 大熊(正)家文書3733	
9	旱魃・飢饉・ 打ちこわし	天明7年(1787)	乍恐以書付奉願上候(先納金並勝手向賄金に付門訴一件有免願)	" 鬼久保家文書191	
10			差上申一札之事(久喜町他打ちこわしに付詫一札)	" 鬼久保家文書191	
11			去年旱魃に付馬飼料拝借願	野久喜 木村家文書42	
12			幸手宿打壊騒動御裁許御請書写	埼玉県立文書館保管 藤城家文書12	
13			幸手宿打壊し一件吟味請証文	幸手市 吉羽家文書1932	
14			凶作困窮に付拝借金証文	本 町 岡安家文書159	
15			乍恐以書付奉愁訴候(久喜町打ちこわしニ付有免願)	埼玉県立文書館保管 相沢家文書1326	
16			乍恐書付奉愁訴候(久喜町打ちこわし一件)	" 相沢家文書664	
17			天保の飢饉に付書上	所久喜 柴崎家文書1	
18			天保8年(1837)	凶作に付窮民夫食拝借帳	野久喜 木村家文書43
19	天保9年(1838)	乍恐以書付御訴奉申上候(琴寄村打ちこわし)	埼玉県立文書館保管 相沢家文書1365		
20		久喜町打ちこわしに付出府入用割訴状	本 町 岡安家文書142		
21		久喜町打ちこわしに付出府入用割争論濟口	" 岡安家文書161		
22		久喜町打ちこわしに付出府入用割請取	" 岡安家文書36		
23		天保10年(1839)	幸手宿打壊騒動一件口書写	埼玉県立文書館24	
24		嘉永6年(1853)	騎西領用水渴水に付議定	埼玉県立文書館保管 大熊家文書3687	
25		安政3年(1856)	武井家記録(照続水不足)	北青柳 武井家文書1	
26		慶応4年(1868)	羽生陣屋他打ちこわし	埼玉県立文書館保管 鬼久保家文書2615	
27		蕃薯解	" 篠崎家文書2194		
28		洪 水	寛保2年(1742)	寛保二壬戌年八月出水に付御救並聞書帳	" 相沢家文書288
29	水丈覚(出水ニ付志多見水丈け覚)			加須市 松村家文書H136	
30	明和9年(1772)			大風雨潰家書上帳	除 堀 茂木家文書724
31	天明6年(1786)			大出水に付手当金拝借請書	" 茂木家文書1800
32	水害に付土橋普請願			" 茂木家文書633	
33	享和2年(1802)			乍恐以書付御訴奉申上候(出水ニ付被害届)	幸手市史編さん室所蔵 中村家文書587-1
34	覚(出水ニテ御尋ニ付書上)			" 中村家文書587-2	
35	弘化3年(1846)			武井家記録(大洪水、竜巻の被害についても記述)	北青柳 武井家文書1
36	幸手市近郷河川氾濫絵図			埼玉県立文書館保管 中島家文書258	
37	弘化三年洪水幸手近郷絵図			幸手市 吉羽家文書1641	
38	安政3年(1856)	大風雨に付潰家書上帳	野久喜 木村家文書44		
39		大風雨潰家取調書上帳	除 堀 茂木家文書234		
40		大風雨潰家ニ付手当金割賦帳	" 茂木家文書197		
41		大風雨被害書上	所久喜 柴崎家文書1		
42		武井家記録(台風)	北青柳 武井家文書1		
43		安政6年(1859)	大風雨出水に付被害書上	所久喜 柴崎家文書1	
44		大出水に付拝借金願	除 堀 茂木家文書280		
45		水難助成金拝借願	" 茂木家文書1258		
46		大洪水に付種糶拝借願	" 茂木家文書666		

No.	災害名	年月日	展示資料名	所 蔵		
47	安政の大地震	安政7年(1860) 慶応2年(1866) 安政2年(1855)	大出水に付困窮百姓書上	埼玉県立文書館保管 内田家文書72		
48			武井家記録(洪水)	北青柳 武井家文書1		
49			大洪水に付夫食拝借願	除 堀 茂木家文書1353		
50			貯穀拝借御請証文	野久喜 木村家文書46		
51			非常備穀書上帳	" 木村家文書673		
52			水難助成貸付金拝借証文	除 堀 茂木家文書249		
53			大地震に付用水路大破検分願	" 茂木家文書1020		
54			囲堤洩所并杭柵普請仕様帳	" 茂木家文書269		
55			武井家記録	北青柳 武井家文書1		
56			地震に付御役所様献金御上納出金帳	除 堀 茂木家文書513		
57			大地震ニ付御地頭所様江書上帳	埼玉県立文書館所蔵 船川家文書436		
58			(稀成大地震ニ付拝借奉願上候ニ付)	" 船川家文書2150		
59			(地震による潰家、大破ニ付)	" 船川家文書1535		
60			地震類焼場所明細書之写	" 船川家文書2271		
61			大江戸類焼地震所附	埼玉県立文書館保管 小室家文書4807		
62			地震けん	" 小室家文書錦3-5		
63			安政見聞誌(上・中・下)	" 小室家文書2743		
64			安政ニ卯十月一日大地震附類焼場所	" 篠崎家文書4321		
65			大 火	明治11年(1878)	失火始末書	中 央 榎本家文書1249
66					火災に付地租金延納願	" 榎本家文書1255
67					火災救助金請取	" 榎本家文書1256
68					久喜町火災に付施与者及び醸金録	野久喜 木村家文書134
69			洪 水	明治23年(1890)	出水村々見舞覚帳	中 央 榎本家文書1676
70					清久村・江面村水災被害表	埼玉県行政文書 明707
71					水災見舞出帳	中 央 榎本家文書1682
72				明治43年(1910)	明治43年洪水(写真)	" 榎本家
73			関東大地震	大正12年(1923)	関東大震災被害状況	埼玉県行政文書 大1420
74					久喜町復興貯蓄組規約	中 央 榎本家文書1645
75					関東大震災 幸手町魚文商店付近(写真)	埼玉県農業試験場
76					大正14年関東地震調査報告	"
77					関東大震災復旧作業(写真)	中 央 大木家
78			カスリーン台風	昭和22年(1947)	カスリーン台風(写真)	北青柳 武井家、『埼玉県水害誌』より

※展示期間中、一部展示替えを行います。

協力者(敬称略・順不同)

篠崎克、藤城孟男、船川喜美子、吉羽博、中村正志、松村春子、中島修、野中彦平、大熊正久、小室開弘、久保勝之、相沢勝寿、鬼久保清、大熊みつ、茂木啓明、木村達郎、岡安参男、柴崎保、武井友幸、内田正也、榎本善之助、大木阿き、埼玉県農業試験場、埼玉県立図書館、埼玉県立文書館、幸手市史編さん室、八潮市立資料館、武井尚、新井浩文、(故 新井敏雄)

公文書館利用案内

☆開館時間／9:00～17:00

(企画展の公開は9:00～16:00)

☆休 館 日／土曜日・日曜日・国民の休日

年末年始(企画展の期間中は、日曜日も開館します)

☆交通案内／JR宇都宮線・東武伊勢崎線 久喜駅
西口下車徒歩17分(久喜市役所西側)